

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公表番号】特表2001-514171(P2001-514171A)

【公表日】平成13年9月11日(2001.9.11)

【出願番号】特願2000-507656(P2000-507656)

【国際特許分類】

C 0 7 D 231/12 (2006.01)

A 0 1 N 43/56 (2006.01)

C 0 7 D 231/16 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 231/12 Z

A 0 1 N 43/56 C

C 0 7 D 231/16

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

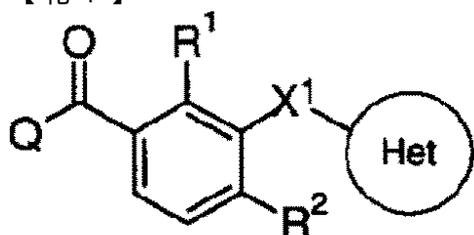
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式 I a

【化1】



Ia

[但し、 R^1 が、ニトロ、ハロゲン、シアノ、チオシアナト、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $-OR^3$ 又は $-S(O)_nR^3$ を表し、

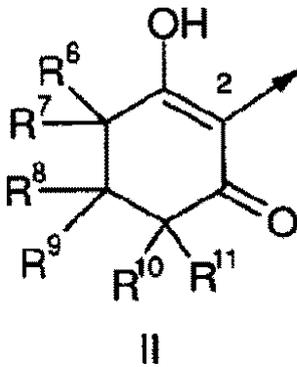
R^2 が、水素、又はハロゲン以外の R^1 で述べた基の1個を表し、

R^3 が水素、 $C_1 \sim C_6$ アルキルを表し、

n が1又は2を表し、

Qが2位に結合する式 I I

【化2】



[但し、 R^6 、 R^7 、 R^8 、 R^9 、 R^{10} 及び R^{11} が、それぞれ水素又は $C_1 \sim C_4$ アルキルを表し、上記 C^8R^9 単位が、 $C=O$ で置き換わっていても良い]

で表されるシクロヘキサン - 1, 3 - ジオン環を表し、

X^1 が酸素により中断された、直鎖又は分岐の $C_2 \sim C_6$ アルキレン鎖、 $C_2 \sim C_6$ アルケニレン鎖、または $C_2 \sim C_6$ アルキニレン鎖、或いは $-OCH_2-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2CH_2-$ 、 $-CH_2CH_2O-$ 、 $-CH=CHCH_2O-$ 又は $-C \quad CCH_2O-$ を表し、

H e t が、

窒素、酸素及び硫黄から選択される 1 ~ 3 個のヘテロ原子を有する、3 ~ 6 員の部分飽和若しくは完全飽和ヘテロシクリル基、又は

下記の 3 個の群：窒素、酸素と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせ、又は硫黄と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせから選択されるヘテロ原子を 3 個まで有する、3 ~ 6 員のヘテロ芳香族基、を表し、且つ上述のヘテロシクリル基又はヘテロ芳香族基は、部分的に又は完全にハロゲン化されていても、及び/又は R^5 で置換されていても良く、

R^5 が水素、ヒドロキシル、メルカプト、アミノ、シアノ、ニトロ、ホルミル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルアミノ、 $C_1 \sim C_4$ ジアルキルアミノ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシカルボニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルカルボニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルカルボニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルチオ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルコキシを表し、且つ上記アルキル基は、それぞれ 1 個以上の下記の基：シアノ、ホルミル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルアミノ、 $C_1 \sim C_4$ ジアルキルアミノ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシカルボニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルカルボニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルカルボニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルチオ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルコキシで置換されていても良い]

で表される 2 - ベンゾイルシクロヘキサン - 1, 3 - ジオン又はその農業上有用な塩。

【請求項 2】

X^1 が酸素で遮断されている $C_2 \sim C_3$ アルキレン鎖、 $C_2 \sim C_3$ アルケニレン鎖又は $C_2 \sim C_3$ アルキニレン鎖、或いは $-OCH_2-$ または $-CH_2O-$ を表す、請求項 1 に記載の式 I a で表される 2 - ベンゾイルシクロヘキサン - 1, 3 - ジオン。

【請求項 3】

H e t が、

窒素、酸素及び硫黄から選択される 1 ~ 3 個のヘテロ原子を有する、5 員若しくは 6 員の部分飽和若しくは完全飽和ヘテロシクリル基、又は

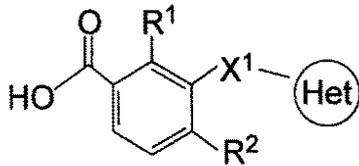
下記の 3 個の群：窒素、酸素と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせ、又は硫黄と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせから選択されるヘテロ原子を 3 個まで有する、5 員若しくは 6 員のヘテロ芳香族基、を表す請求項 1 又は 2 に記載の式 I a で表される 2 - ベンゾイルシクロヘキサン - 1, 3 - ジオン。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の式 I a で表される 2 - ベンゾイルシクロヘキサン - 1, 3 - ジオンの製造方法であって、置換又は非置換のシクロヘキサン - 1, 3 - ジオン Q

を、カルボン酸 III b'

【化3】



III b'

[但し、置換基 R^1 、 R^2 、 X^1 及び Het が、それぞれ請求項 1 と同義である] でアシル化し、適宜触媒の存在下に、アシル化生成物を転位させて化合物 $I a$ を得ることを特徴とする製造方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0058

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0058】

本発明の式 I で表される以下の化合物が重要である。即ち、基 X^1 が、1 個の他の酸素又は硫黄原子を含む $C_1 \sim C_2$ アルキレン鎖又は C_2 アルケニレン鎖を表し、 Het が、3 ~ 6 員の部分飽和若しくは完全飽和ヘテロシクリル基、又は窒素、酸素及び硫黄から選択される 3 個までのヘテロ原子を有する、3 ~ 6 員のヘテロ芳香族基 { このヘテロシクリル基又はヘテロ芳香族基は、部分的に又は完全にハロゲン化されていても、及び / 又は R^5 で置換されていても良い } を表す。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0059

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0059】

さらに、本発明の式 I で表される以下の化合物が重要である。即ち、 Het が、5 員若しくは 6 員の部分飽和若しくは完全飽和のヘテロシクリル基、又は窒素、酸素及び硫黄から選択される 3 個までのヘテロ原子を有する、5 員若しくは 6 員のヘテロ芳香族基 { このヘテロシクリル基又はヘテロ芳香族基は、部分的に又は完全にハロゲン化されていても、及び / 又は R^5 で置換されていても良い } を表し；

R^5 が水素、ヒドロキシル、メルカプト、アミノ、シアノ、ニトロ、ホルミル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルアミノ、 $C_1 \sim C_4$ ジアルキルアミノ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシカルボニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルカルボニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルカルボニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルチオ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルコキシを表し、且つ上記アルキル基は、それぞれ 1 個以上の下記の基：シアノ、ホルミル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルアミノ、 $C_1 \sim C_4$ ジアルキルアミノ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシカルボニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルカルボニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルカルボニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルチオ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルコキシで置換されていても良い。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

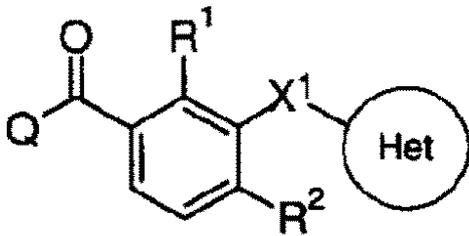
【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

【化15】



Ia

以下の式 I a で表される化合物が最も好ましい。即ち、置換基 R^1 、 R^2 及び Q がそれぞれ上記と同義であり、 X^1 が、1 個の他の酸素原子を含む $C_1 \sim C_2$ アルキレン鎖又は C_2 アルケニレン鎖を表し、そして Het が、3 ~ 6 員、好ましくは 5 員又は 6 員の部分飽和若しくは完全飽和ヘテロシクリル基、又は下記の 3 個の群：即ち、窒素、酸素と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせ、又は硫黄と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせ、特に好ましくは以下の 2 個の群：即ち、窒素、又は酸素と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせから選択される 3 個まで、特に好ましくは 1 個又は 2 個のヘテロ原子を有する、3 ~ 6 員、好ましくは 5 員又は 6 員のヘテロ芳香族基を表し、且つこのヘテロシクリル基又はヘテロ芳香族基は、部分的に又は完全にハロゲン化されていても、及び / 又は R^5 で置換されていても良い。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0069

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0069】

さらに、以下の、本発明の式 I a で表される化合物が極めて最も好ましい。即ち、置換基 R^1 、 R^2 及び X^1 がそれぞれ上記と同義であり、 Het が、5 員又は 6 員の部分飽和若しくは完全飽和ヘテロシクリル基、又は下記の 3 個の群：即ち、窒素、酸素と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせ、又は硫黄と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせ、特に好ましくは以下の 2 個の群：即ち、窒素、又は酸素と少なくとも 1 個の窒素との組み合わせから選択される 3 個まで、特に好ましくは 1 個又は 2 個のヘテロ原子を有する、5 員又は 6 員のヘテロ芳香族基、を表し、且つこのヘテロシクリル基又はヘテロ芳香族基は、部分的に又は完全にハロゲン化されていても、及び / 又は R^5 で置換されていても良い。